



平成31年2月8日

各 位

会 社 名 株式会社バイテックホールディングス
代表者名 代表取締役会長兼社長 今野 邦廣
(コード番号：9957 東証第一部)
問 合 せ 先 執行役員経理部長 二島 進
(TEL. 03-3458-4619)

(訂正)「平成31年3月期第3四半期決算説明資料」の一部訂正について

当社が平成31年2月7日に発表いたしました「平成31年3月期第3四半期決算説明資料」の記載に一部誤りがございましたので、下記のとおり訂正いたします。なお、訂正箇所には下線を付して表示しております。

記

1. 訂正の内容

平成31年3月期第3四半期決算補足説明資料

2ページ「業績ハイライト」

ROE

(訂正前)

前年比4.3pt改善し17.4%となり資本効率が向上

(訂正後)

前年比1.5pt悪化し11.6%となり資本効率が低下

平成31年3月期第3四半期決算補足説明資料

2ページ「業績ハイライト」

自己資本四半期利益率(ROE)

(訂正前)

2019年3月期第3四半期 自己資本四半期利益率(ROE) 17.4%

(訂正後)

2019年3月期第3四半期 自己資本四半期利益率(ROE) 11.6%

2. 訂正後の補足説明資料

別紙、訂正後の決算補足説明資料をご覧ください。

以上

株式会社バイテックホールディングス



平成31年3月期 第3四半期
決算説明資料

【決算のポイント】

(単位:百万円)

売上高	調達事業が伸長した結果、前年同期比105.6%を達成
経常利益	営業利益率改善と為替差損計上により、前年同期比0.5%
ROE	前年比1.5pt悪化し11.6%となり資本効率が低下

	2018年3月期 第3四半期	2019年3月期 第3四半期	対前年同期比 増減率	2019年3月期 通期目標
売上高	135,200	142,819	5.6%	210,000
売上総利益	8,661	9,206	6.3%	—
営業利益	2,690	3,193	18.7%	4,100
(営業利益率)	(2.0%)	(2.2%)	—	(2.0%)
経常利益	2,151	2,161	0.5%	3,000
親会社株主に帰属する 四半期利益	1,509	1,396	▲7.5%	2,000
1株あたり四半期利益 (EPS)	106.68円	98.00円	—	140.50円
自己資本四半期利益率 (ROE)	13.1%	11.6%	—	—

※PL換算レート(円/米ドル):2018/3期3Q 111.82円、2019/3期3Q 110.82円

(参考)2019/3期 110円を想定

貸借対照表の推移

【ポイント】

(単位:百万円)

資産	現預金が25億、棚卸資産が72億増加
負債	調達事業拡大に伴う資金調達により借入金が73億増加
純資産	利益剰余金が3億、非支配株主持分が15億増加

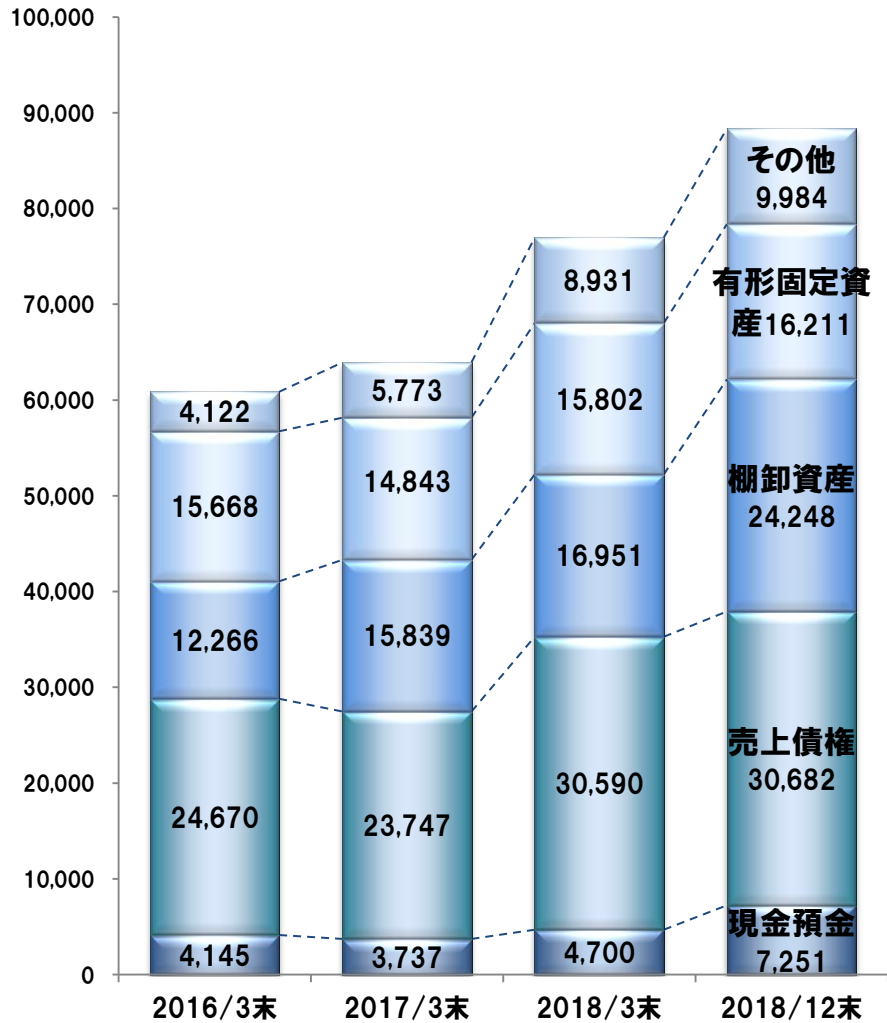
	2016年3月末	2017年3月末	2018年3月末	2018年12月末	対前期増減額
流動資産	42,173	45,435	55,532	65,789	10,256
固定資産	18,698	18,503	21,441	22,587	1,147
資産合計	60,871	63,939	76,974	88,376	11,403
流動負債	33,684	35,841	45,031	51,699	6,668
固定負債	13,821	12,965	15,635	18,378	2,743
負債合計	47,505	48,807	60,666	70,078	9,412
純資産合計	13,365	15,131	16,307	18,298	1,991
負債純資産合計	60,871	63,939	76,974	88,376	11,403
自己資本比率	21.8%	23.0%	20.6%	18.5%	—

※BS換算レート(円/米ドル):2018/3月末 106.24円、2018/12月末 111.00円

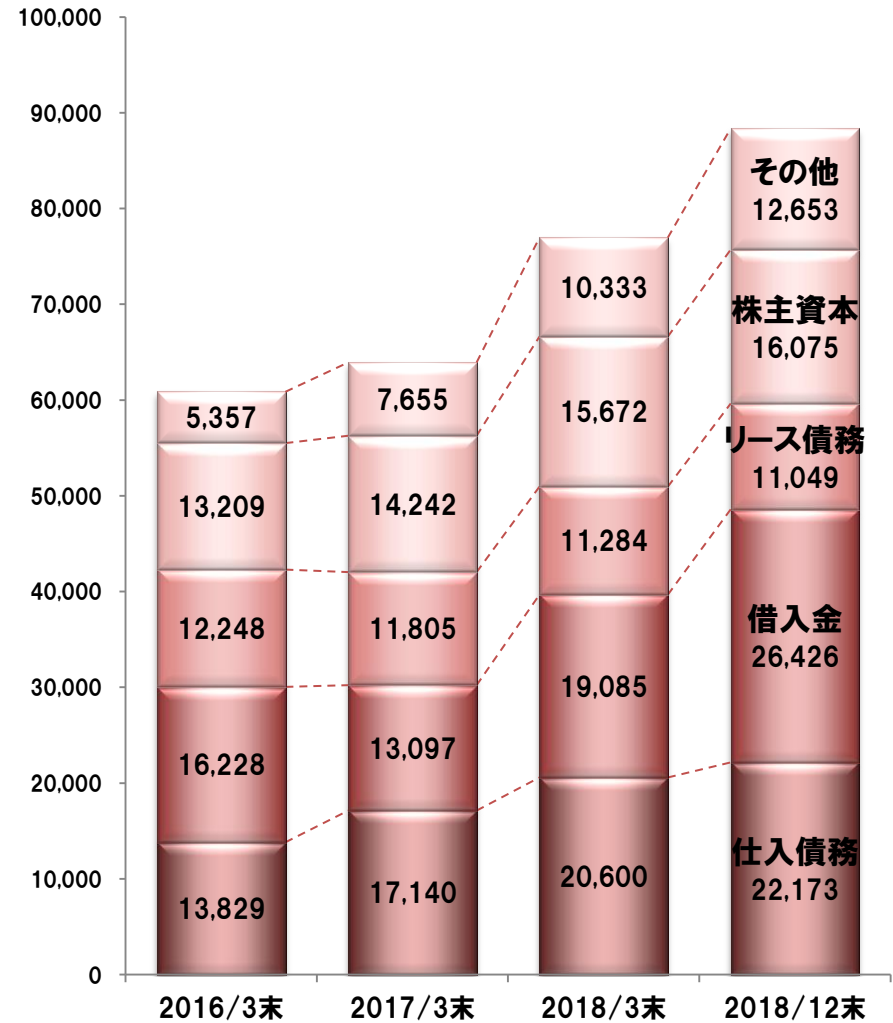
貸借対照表(主要科目)の推移

(単位:百万円)

資産



負債・純資産

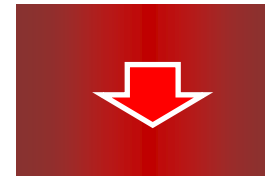
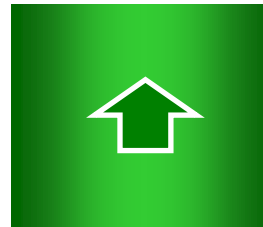


※借入金、リース債務は短期、長期の合計

【営業利益】

(単位:百万円)

パネルや部材販売
の減少による



デバイス事業
粗利益

調達事業
粗利益

売上高の
大幅増による

環境事業
粗利益

販管費
増加



2018/3期3Q

2019/3期3Q

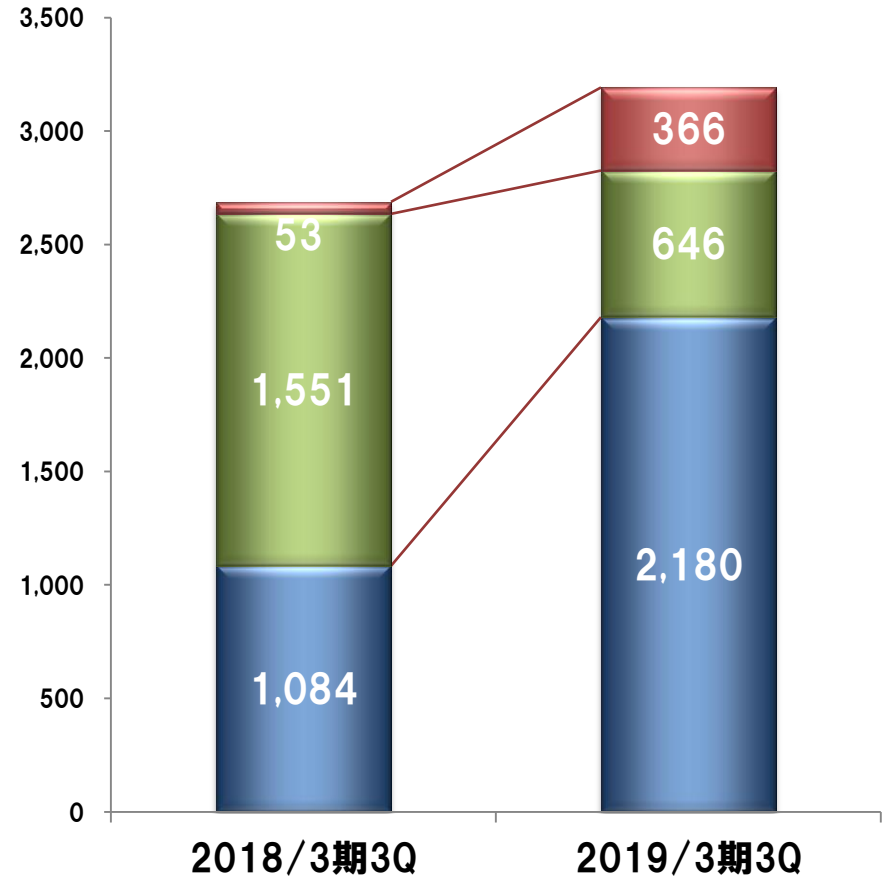
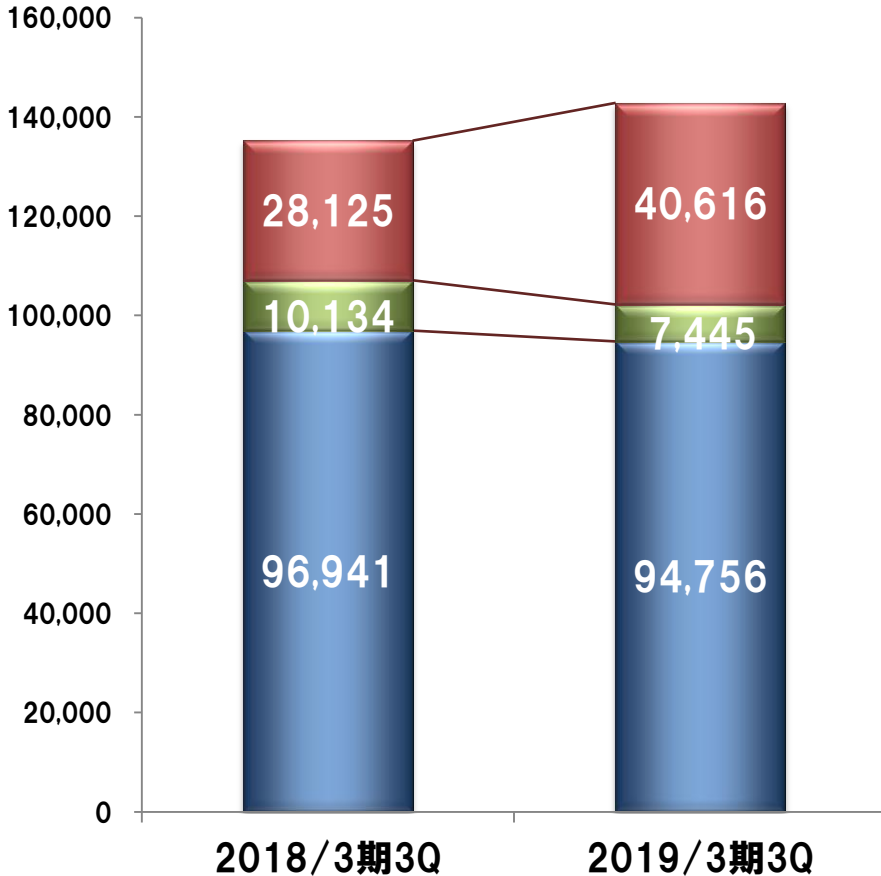
売上高

営業利益

(単位:百万円)

■ デバイス ■ 環境 ■ 調達

■ デバイス ■ 環境 ■ 調達



【トピックス】

- デバイス : スマートフォン向け指紋センサーモジュール等が微減
- 環境 : 太陽光発電事業における売上は堅調
前年同期比でパネル販売が減少
- 調達 : パナソニックグループとの協業が拡大

【トピックス】

- デバイス : 収益性の高い産業機器及び車載向けデバイスが堅調に推移。コスト削減効果もあり営業利益は前年同期比201.0%と大きく伸長
- 環境 : パネル販売減少により減益

通期見通しに変更はございません

単位:億円

	3Q実績	年間見通し	3Q進捗率 (対年間)
売上高	1,428	2,100	68%
営業利益	31.9	41.0	77.8%

売上・利益の牽引要因

高収益デバイスの拡大

調達事業の大幅伸長

発電量の増加

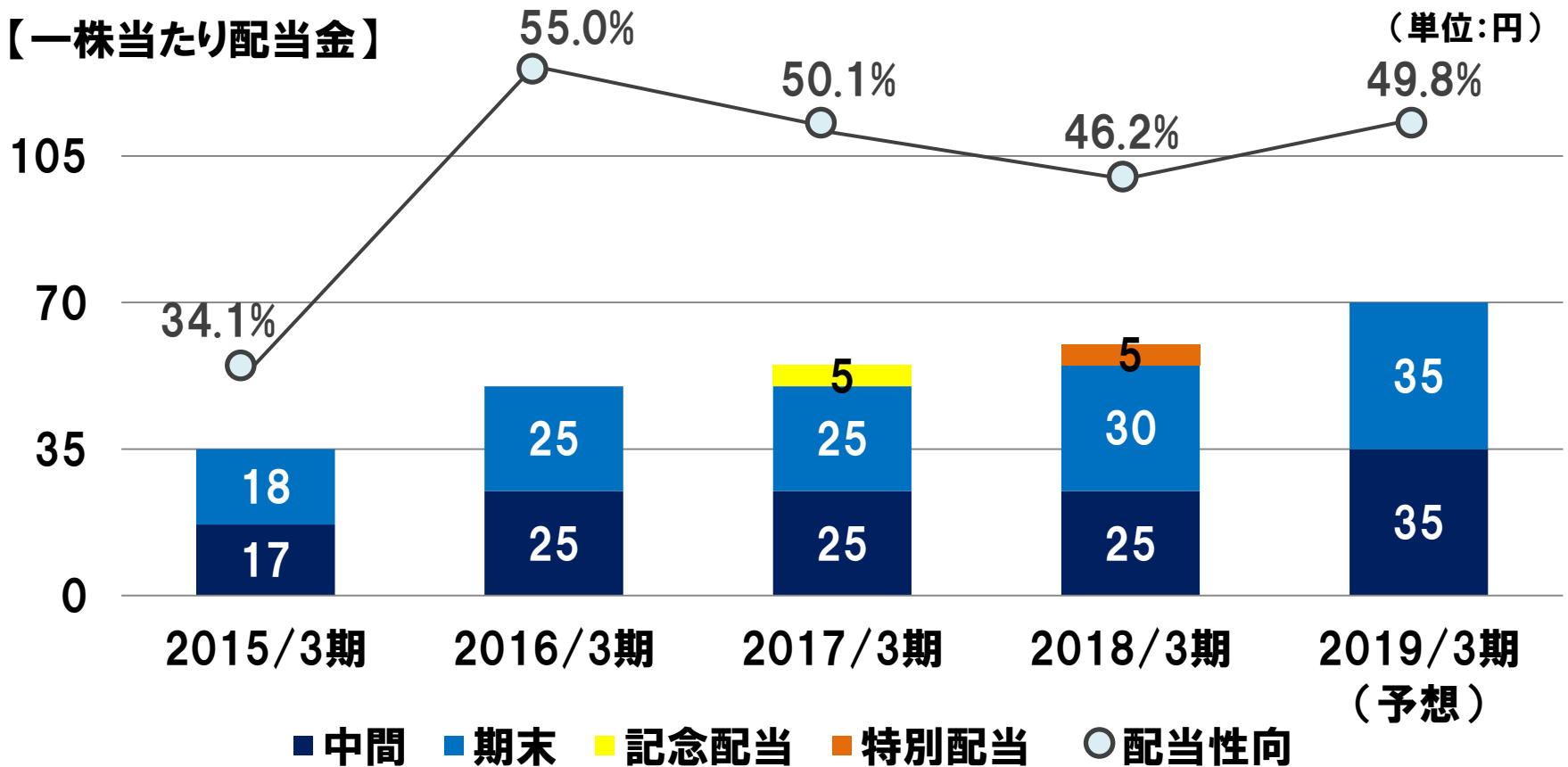
植物工場事業の進展

パートナーとの共創

【配当に関する基本的方針】

- 株主の皆様への積極的かつ安定的な利益還元を経営の重要課題と位置づけています
- 連結配当性向50%を目標としています

【一株当たり配当金】



Topics

11月27日、臨時株主総会で決議されました



経営統合

株式会社レスターホールディングス

2019.4.1スタート

国内エレクトロニクス商社トップクラスの売上規模

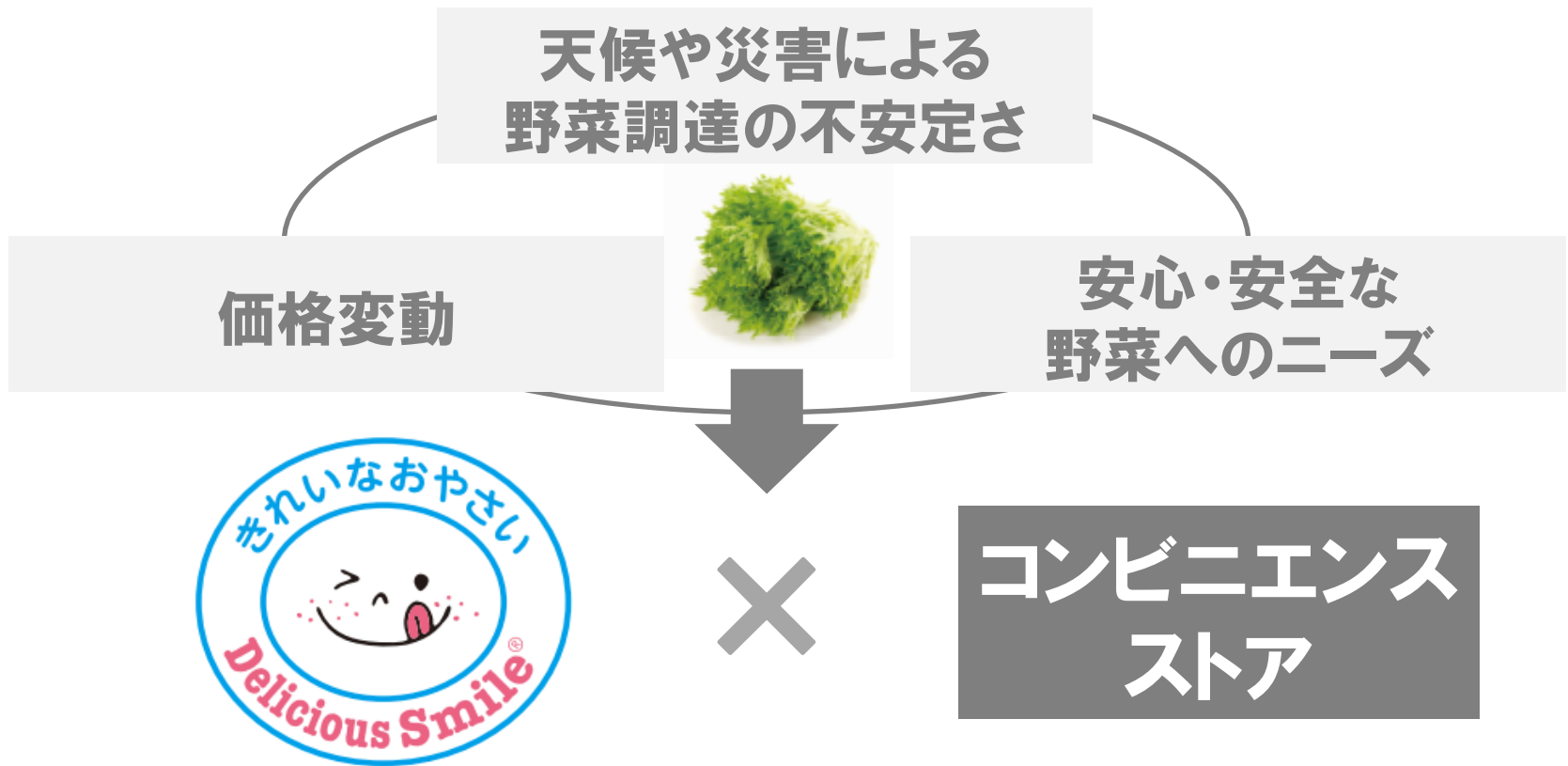
プレスリリース

[経営統合に関するお知らせ](#)
[臨時株主総会ご通知](#)

植物工場事業の全国展開

全国5ヶ所で植物工場が稼働中 4工場でGGAP取得(鹿角工場取得中)





大手コンビニエンスストアのサラダに採用

安全で安心な野菜の安定供給

GGAP取得：食の安全と持続可能な生産活動

2018年3月期	5月	台湾WPG Holdingsとの資本提携(第三者割当)
	8月	六戸ソーラーパーク(特別高圧)運転開始
	10月	JIG-SAWグループとインダストリアルIoT分野で業務提携 当社グループ冠スポンサーによるデリシャススマイル杯開催のお知らせ
	1月	小型風力発電1号機稼働(北海道天塩郡遠別町) 営農型太陽光発電所第1号機運転開始(バイテック登米太陽光発電所)
	2月	特別配当の実施 新中期経営計画 植物工場事業の大展開
2019年3月期	6月	PCIホールディングスとの資本業務提携並びにバイテックシステムエンジニアリングの株式譲渡に関するお知らせ
	7月	バイテックグローバルエレクトロニクスとグローバルモビリティサービス ASEANエリアでのサービス供給体制の強化に向け資本業務提携を締結 植物工場における国際認証GLOBALG.A.P.取得のお知らせ(2工場)
	8月	配当方針の変更及び配当予想の修正 大阪大学大学院医学系研究科『認知症プレジジョン医療開発学寄附講座』開設に向けた寄附の実施
	9月	UKCホールディングスとの経営統合に関するお知らせ 国内最大の豪華客船「飛鳥II」乗船客への記念品として バイテックファーム七尾のレタスが採用
	11月	植物工場2工場における国際認証GLOBALG.A.P.取得のお知らせ 経営統合による統合効果、株主還元方針のお知らせ
	12月	植物工場野菜 大手コンビニエンスストアに採用 秋田県鹿角植物工場 稼働のお知らせ

◇ 将来の見通しに関する注意事項

このプレゼンテーションに掲載されている当社の現在の計画、見通し、戦略は、将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいております。

実際の業績は、様々な外部要因、内部要因の変化により、これらの業績見通しとは異なる結果となる可能性があります。

実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、世界・日本経済の動向、急激な為替相場の変動ならびに戦争・テロ活動、災害や伝染病の蔓延等があります。